

ケアマネ試験に合格したいなら、 これだけは知っておけ

過去5年間（第23回～第28回）徹底分析

入塾オリエンテーション用導入資料

データソース：過去問360問（第23～28回）分析結果

試験の基本情報 (2025)



- 📅 **試験日**：2025年10月12日（日）
- ☒ **申込期間**：2025年5月下旬～7月上旬
(都道府県により異なる)
- ✓ **合格発表**：2025年11月25日（火）
- 👤 **受験資格**：保健・医療・福祉の法定資格＋実務経験5年以上
(相談援助業務の実務経験が必要な区分あり)

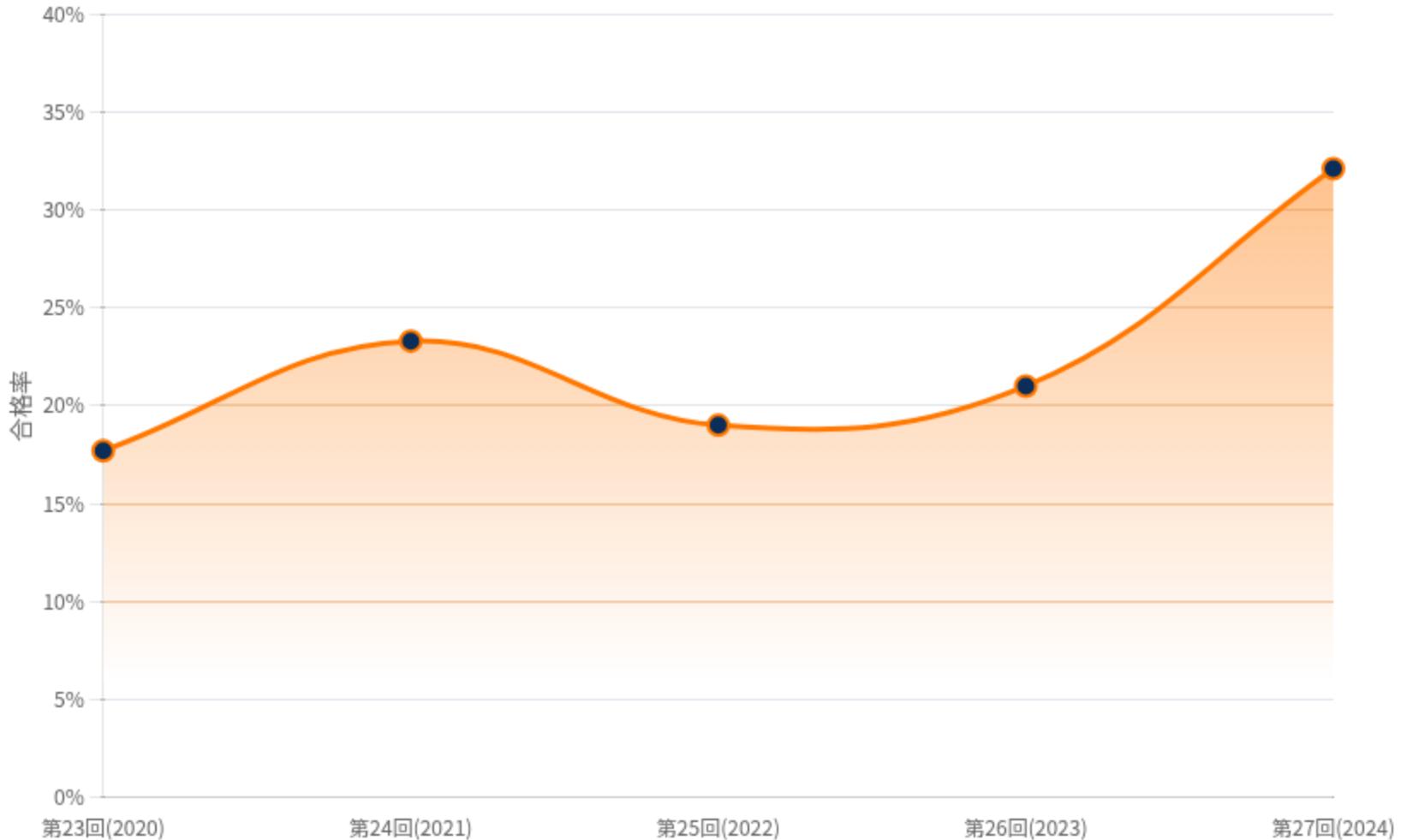


⚠ 注意：申込期間は非常に短い！

申込期間は**2週間～1ヶ月程度**と短期間です。受験要項の入手や実務経験証明書の準備は早めに行いましょう。

試験の難易度を知る (合格率推移)

- 過去5年間で最高の合格率でも、依然として3人に1人しか合格できない難関試験
- 合格率はアップしつつあるが、油断は禁物
- 計画的な学習と効率的な受験対策が不可欠



32.1% 第27回 (2024) 合格率

過去10年で最高の合格率ですが、依然として3人に約1人しか合格できない難関試験です。試験制度が変更されたことも影響していると考えられます。

試験形式の重要なポイント



※ 出題数：全60問／マークシート方式

✓ 形式：五肢複択（問題ごとに「2つ」または「3つ」選ぶ）

↖ 合格基準：各分野70%以上が必須

18/25

介護支援分野

25/35

保健医療福祉サービス分野

両分野とも70%以上の得点が必要です



重要：どちらか一方でも基準未満なら不合格

たとえ総得点が高くても、どちらかの分野が70%未満の場合は不合格となります。両分野のバランスの取れた学習が必須です。



【超重要】 五肢複択の落とし穴

- ✖ 部分点なし！全問正解でないと得点にならない
- ✖ 運だけでは厳しい！3つ選ぶ場合の正解率はわずか10%
- 💡 不正解を見抜く力が合格への近道！
- 💡 完璧な知識がなくても、不正解の選択肢が分かれれば勝機あり！

五肢複択の戦略的攻略法



不正解を見抜く戦略

五肢複択では、不正解を見抜く力が合格への近道です！

問題タイプ	不正解がわかる数	残りの選択肢数	正解確率
3つ選べ (全体の73.6%)	1つ	4つから3つ選ぶ	25%
	2つ	3つから3つ選ぶ	100%
2つ選べ (全体の26.1%)	1つ	4つから2つ選ぶ	約17%
	2つ	3つから2つ選ぶ	約33%
	3つ	2つから2つ選ぶ	100%



部分点なし！選ぶべき正解をすべて選ばないと0点

例：3つ選ぶ問題で2つだけ正解を選んでも得点にならない

戦略：不正解を見抜く力を養おう！

すべての問題を完璧に理解しなくても、明らかに不正解を見抜く力があれば、正解確率を大きく高められます。確実に「これは間違いだ」と判断できる選択肢を1つでも2つでも見つける訓練をしましょう。



結論：完璧でなくても、不正解を見抜く力があれば合格できる！

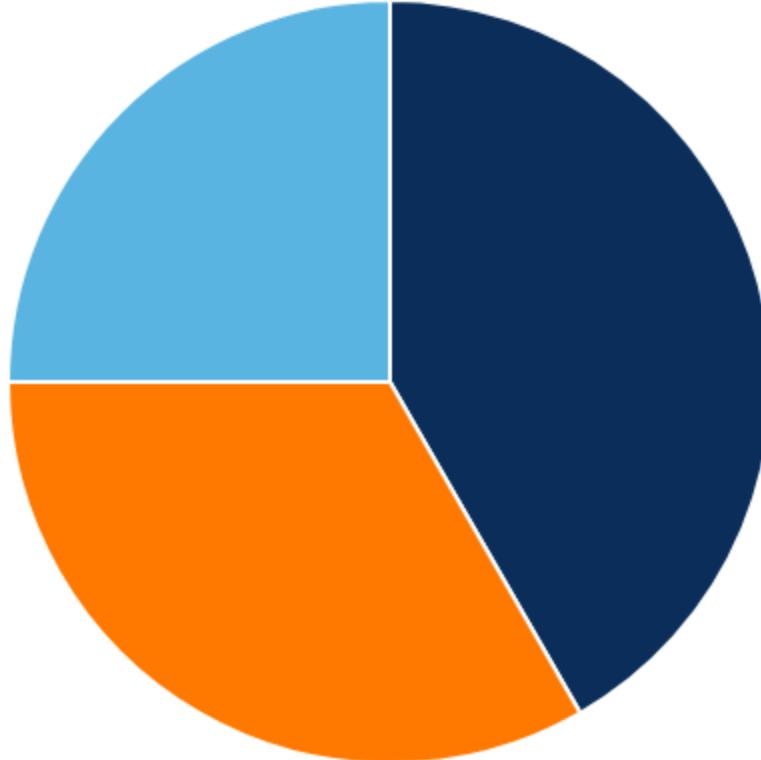
不正解を2つ特定できれば、「3つ選べ」問題は100%正解できます。これが五肢複択攻略の鍵です。

出題分野の内訳 (毎年固定)

毎年固定の出題比率
(変動なし)

両分野とも70%以上の得点が必須

片方のみ高得点では不合格
(バランスが重要)



■ 介護支援分野: 25問 ■ 保健医療サービス分野: 20問 ■ 福祉サービス分野: 15問

各分野の合格ライン

介護支援分野: 25問中**18点以上** (70%以上)

保健医療福祉サービス分野: 35問中**25点以上** (70%以上)

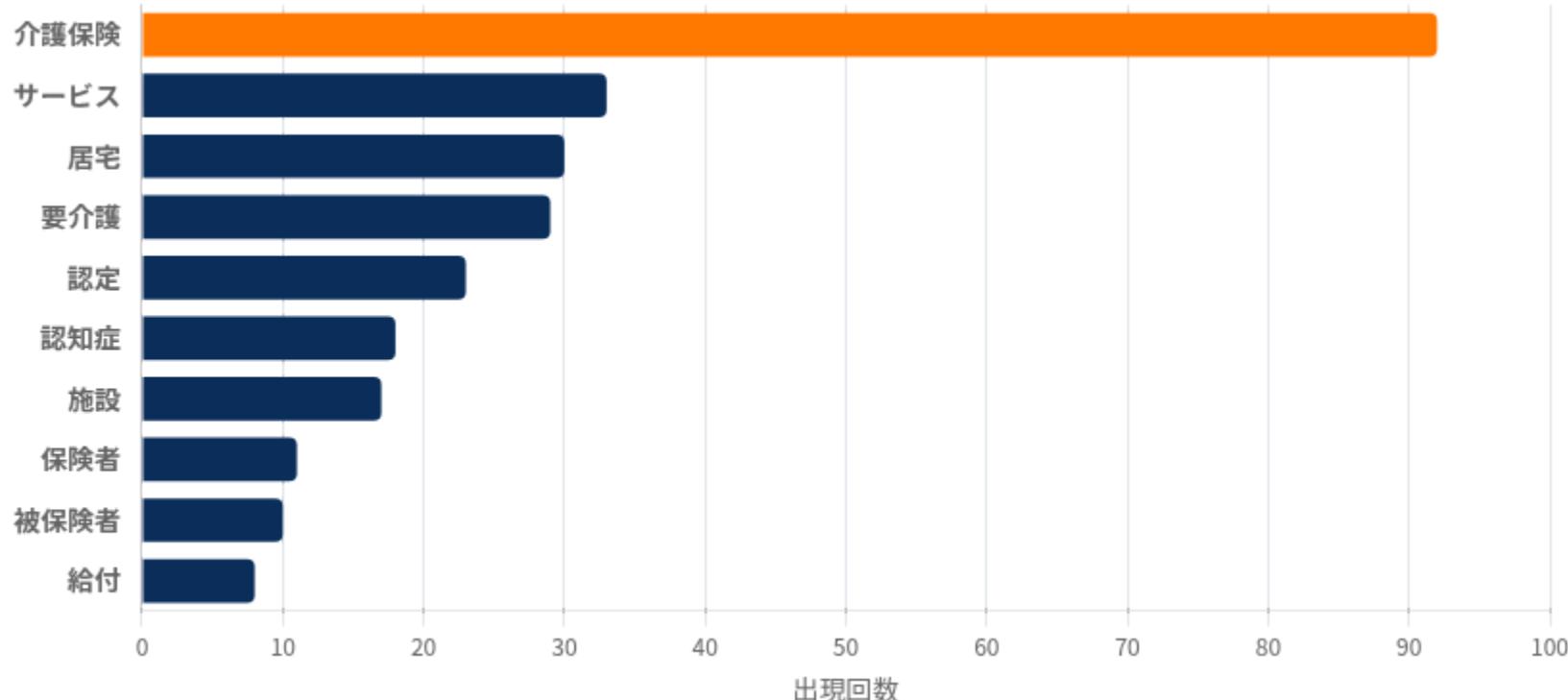
注意: どちらか一方でも基準を満たさないと不合格になります。両分野のバランスのとれた学習が必須です。

頻出キーワードTop10 (過去5年・360問)

Q 過去5年分（360問）の問題から頻出キーワードを抽出

！ 「介護保険」が圧倒的に多く、他のキーワードの3倍以上出現

💡 介護保険制度の理解なくして合格なし



最重要キーワード：介護保険（92回）

「介護保険」に関連する出題が圧倒的に多く、基本的な制度理解と最新の法改正情報の把握が合格の鍵です。居宅サービスと施設サービスの理解も重要です。

＝ ケアマネ試験 ≈ 介護保険制度を学ぶこと

試験範囲のほとんどが介護保険法からの出題です。データが示すように、介護保険制度を理解することがケアマネ試験合格の最重要ポイントです。制度の基本概念から最新の法改正まで、介護保険法を体系的に学ぶことが必須といえます。

試験攻略の 3つの鉄則



鉄則1

五肢複択を制する

部分点なしの厳しさを前提に学習する

▲ 「なんとなく」は通用しない：曖昧な知識は命取り

？ 全問正解でないと得点にならない 確実に正誤を判断する力が必須



鉄則2

両分野とも70%以上が必須

各分野の基準点：介護支援分野18/25点、保健医療福祉サービス分野25/35点

✖ 得意分野だけでは合格不可能（片方90%、片方60%でも不合格）

↑ 弱点分野を最低70%まで底上げするバランスの取れた学習が重要



鉄則3

頻出テーマの徹底理解

★ 介護保険制度の仕組み・最新の改正情報

★ 居宅サービス / 施設サービスの詳細

① 各サービス事業者それぞれの特徴が頻出（区分や基準の違いを押さえる）

★ 要介護認定のプロセスと判定基準

▣ 過去問5年分を3回以上解くことで出題傾向と解法に慣れる

申込スケジュールと準備

- ⚠️ 申込期間はわずか2週間～1ヶ月と短い
- 💡 都道府県により受付期間が異なるため早めの確認が必須
- ⌚ 実務経験証明書の準備には時間がかかる場合も



📅 今やるべきこと

- ✓ 受験資格の最終確認（法定資格+実務経験5年以上）
- ✓ 実務経験証明書の発行依頼（現職・前職の事業所へ）
- ✓ 受験要項の入手方法・配布時期の確認（都道府県ウェブサイト）
- ✓ 必要書類の準備（顔写真・受験手数料・身分証明書のコピー等）



まとめ： 合格への第一歩

合格への第一歩チェックリスト

- ✓ 五肢複択を攻略する（不正解を見抜く力を磨く）
- ✓ 兩分野70%以上の壁を知る
(介護支援分野：18/25点・保健医療福祉サービス分野：25/35点)
- ✓ ケアマネ試験=介護保険制度と理解する
- ✓ 各サービス事業者の特徴を押さえる
- ✓ 申込期間を逃さない
- ✓ 過去問演習が最重要

■ データ出典：第23～28回過去問360問の分析結果

合格まで一緒にがんばりましょう！